

■平成28年度 広報・広聴特別委員会活動報告

1. 今年度の活動経過

本委員会は平成27年5月に設置され、開かれた議会の実現に必要な広報・広聴機能の調査・研究に積極的に取り組んできた。

今年度は下表のとおり、議会活動報告会に関する協議や、その他広報・広聴に関する協議を行った。

	開催月日	調査内容
1	平成28年 4月 5日	* 議会活動報告会に関する協議
2	4月13日	* 議会活動報告会に関する協議
3	4月18日	* 議会活動報告会に関する協議
4	5月16日	* 年間スケジュール及び活動内容に関する協議
5	6月 6日	* 議会活動報告会に関する協議
6	6月22日	* 議会活動報告会に関する協議 * 若年層との意見交換会に関する協議
7	7月 5日	* 議会活動報告会に関する協議
8	7月13日	* 議会活動報告会に関する協議
9	8月30日	* 議会活動報告会に関する協議
10	9月14日	* 若年層との意見交換会に関する協議
11	9月29日	* 若年層との意見交換会に関する協議
12	12月14日	* 若年層との意見交換会の反省 * 議会インターネット中継に関する協議
13	平成29年 2月28日	* 議会活動報告会に関する協議
14	3月22日	* 今年度の活動報告の総括

※その他、議会だよりに関する編集作業8回、計22回委員会を開催

2. 重点調査事項について

(1) 議会活動報告会

この取り組みは、平成25年度から実施しており、平成28年度は、6月定例会後に5地区で開催している。

●開催場所・参加者数(人)

開催地区	日程	会場	参加者数
伊形地区	平成 28 年 7 月 22 日	土々呂コミュニティセンター	27 人
東海地区	平成 28 年 7 月 22 日	東海コミュニティセンター	70 人
岡富地区	平成 28 年 7 月 27 日	富美山西区公民館	34 人
南方地区	平成 28 年 7 月 29 日	南方東コミュニティセンター	81 人
恒富地区	平成 28 年 7 月 29 日	恒富南コミュニティセンター	19 人
合 計			231 人

●アンケート結果

報告会への参加回数は	初めて	2 回目	3 回以上	無記入
	47.7%	18.1%	31.7%	2.5%
内容は良かったか	はい	いいえ	-	無記入
	79.9%	4.5%	-	15.6%
時間は適当だった	はい	長かった	短かった	無記入
	73.9%	4.5%	5.5%	16.1%
また来てみたい	はい	いいえ	-	無記入
	68.3%	8.6%	-	23.1%
ケーブルテレビでの議会中継や FM ラジオ放送を視聴したことは	ある	ない	-	無記入
	49.8%	44.7%	-	5.5%
広報紙「議会だより」を読んだ ことは	ある	ない	-	無記入
	91.0%	5.5%	-	3.5%
開催をどのような方法で知 りましたか	案内チラシ	地区回覧	市ホームページ	PTA 関係
	28.1%	51.8%	0.0%	2.0%
	その他	無記入		
	12.1%	6.0%		

<p>報告会での意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加したが、様々な意見が出て大変勉強になった。 ・市民の声を聴く機会のため、今後も開催して欲しい。 ・議会活動報告会のように意見を聴く会を頻繁に行って欲しい。 ・常に市民がどのようなことを考え、どのような要望を持っているのか把握することに力を注いでほしい。 ・提言により実現した事例や請願や陳情の仕組み等をもっと説明して欲しかった。 ・地区のPR不足だったので、今後は先行してPRをお願いしたい。 ・各委員会のテーマ報告が主であったが、報告会の時間を延ばして現時点の問題点等を話してもらえると良いのではないか。 ・議会の活動状況も良いが、地元の将来展望計画等があれば知りたかった。 ・先進地視察は必要なのか。 ・説明の前段は、もう少し簡潔で良いのではないか。 ・質問に対する答えが少し分かりにくかった。
----------------	---

●今後の対応

議会活動報告会の参加者数は、会場ごとにばらつきがあるものの、平成28年度は、平均が46.2人と他の年度と比較してやや多い状況にある。

そのため、開催地区の区長への案内文書の配付等を活用した周知方法については、一定の効果を得ているが、PR不足との意見もあることから、より多くの方に周知し、参加してもらうための取り組みが必要である。

また、報告会の内容については、資料の見直し等、適宜改善を行った結果、開始当初に比べ中身の濃いものになってきたが、アンケート結果によると、高評価は減少傾向にある。そのため、市民が何を求めているかという視点を一層意識しながら、見直しを行っていく必要があると考える。

さらに、この取り組みは、議会にとって貴重な広報広聴の場であることから、今後も、開催地区や時期など、必要に応じて見直しを加えながら取り組んでいきたい。

(2)若年層との意見交換会

この取り組みは、若い世代の意見を聞き、まちづくりの参考とすること及び議会に親近感を持ってもらうことを目的として、平成27年度から新たに始めたものである。今年度は、九州保健福祉大学の学生に加えて、延岡商業高校の生徒とも行った。若い世代の視点から、様々な意見が出され、活発な意見交換が行われたところである。

●開催場所・参加者数(人)

日程	会場	参加者数
平成28年10月12日	延岡商業高校	187人
平成28年10月14日	九州保健福祉大学	31人
合 計		218人

<p>交換会での意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政治や選挙に興味を持つようになった。 ・ 議員の仕事の話を聞いたことがなかったので、とても勉強になった。 ・ 短い期間で定期的に行うと市の発展に繋がるのではないかと。 ・ 若者の議会に関する関心が低いと思う。高校生や中学生とこのような場を設けると、関心が高くなるのではないかと。 ・ 話が少し難しい。 ・ 遊ぶ場所や買い物をする場所も増えて欲しいが、自然がきれいな延岡も保ってほしい。 ・ バスの本数を増やしてほしい。 ・ 遊べる場所が少ない。
----------------	---

●今後の対応

議会活動報告会とともに貴重な広報広聴の場であることから、今後も続けていく予定であるが、対象の拡大や開催形式等の検討が必要である。

(3)議会だより

本委員会では平成 27 年 5 月に本特別委員会を設置した後、読まれる議会だよりを目指して、調査研究を重ねてきた。その中で、平成 27 年 8 月発刊の第 64 号から、レイアウトの改善を行い、一般質問の質問項目に関して、掲載、未掲載がわかるような表現に改めている。

●今後の対応

これまでの本特別委員会での協議により、議会だよりの紙面づくりについては改善されてきたところであるが、議会活動の成果を一層意識した紙面づくりが必要になるものと考えている。

そのため、今後においても、引き続き、市民に読まれる議会だよりを目指し、取り組んでいく必要がある。

(4)議会放映の充実

現在、本会議の一般質問等に関しては、ケーブルテレビやFMラジオによる生中継を行っているところである。

そのため、昼の時間帯に仕事などで中継を視聴することができない方は、自分で録画するなどの手段をとらない限り、後日視聴する手段がないという課題があり、解決策の一つとして、インターネットを活用した録画配信が考えられる。

今年度においては、県内及び九州内の 26 市に対してアンケート調査を行い、その結果をふまえて検討したところ、本特別委員会としては、既にケーブルテレビやFMラジオによる中継を行っていることから、これを補完する形でのインターネットによる録画配信の方法が良いと意見が一致したところである。

●今後の対応

予算等の問題はあるが、全国的に導入する自治体は増えてきている。多くの情報発信手段を備えることにより、市民が議会に触れる機会が多くなることから、引き続き、開かれた議会の実現に向けて導入に取り組んでいきたい。

3. まとめ

議会の広報広聴において最も重要なことは、議会が何をしているか分からないという課題を解消することであり、議会活動の内容及びその成果を市民に対して、いかにしてPRしていくかが重要である。

議会活動報告会や若年層との意見交換会、議会だよりについては、議会広報広聴の貴重な手段であることから、今後も継続して取り組み、また、議会放映の充実に関しては、本会議一般質問等の映像を後日視聴可能とするため、インターネットによる録画配信の導入に向けた取り組みを進めていきたい。